山都町立潤徳小学校　学校だより

狭霧（さぎり）の朝

潤徳小HP
QRｺｰﾄﾞ

令和４年７月１３日（水）　第２４号
校　長　池部　聖吾智（みわとも）

潤徳小の子たちを見ていると、心が洗われます！

3年　　さん
遠いところからでもお辞儀

この写真は、　　さんがあいさつする様子を校長室から撮影したものです。この光景だけならば、他の児童もやっていることですが、以前大変感心したことがありました。雨の強い日、　　さんは家の人に送ってもらい、正門前で降りました。たまたまその時私は玄関の近くにいたのですが、彼女は私に気付き、窓越しに正門のところからこちらに向かってお辞儀をしたのです。これは大人でもなかなかできないことです。会う人会う人に幸せを感じさせてくれる人だと思いました！

6年　　くん
先生がしてなくても草取り

朝の草取り助っ人常連の　　くん。昨日の朝は、いつもとひと味違っていました。私は、児童教室前で水道の水漏れが気になってネジを締めたり、他のことをしていました。すると、　　くんが出てきて草取りをしに出てきたのです。写真はそのときの様子です。※常にカメラを持ち歩いているのでチャンスは逃しません。決してやらせ写真ではありませんので念のため・・・笑笑。先生がやってなくても草取りをする。これはレベルの高い行動です。彼は頼りになる「仕事人」です！

またシャッターチャンスを逃しましたが、あいさつのときは必ず近くまで来て丁寧にお辞儀する5年生　　さんの姿にも感動しました！みなさんのおかげで心が洗われます。

潤徳抄

今年度の潤徳小の学校教育目標は「確かな学びを『世のため・人のため』に生かそうとする児童の育成」である。改めてこの目標への思いを強くした▼先週末、元首相が演説中に銃撃されて亡くなるというショッキングな事件があった。報道によると使用した銃は手製だったという▼結果として「知識」が人の命を奪うことに使われたことになったのである。今回の事件には、いろいろな背景があったように報道されているが、人の命を奪う行為は決して許されない▼ことあるごとに何度も述べてきたが、山都町のシンボルである通潤橋が作られたストーリーから設定したのがこの学校教育目標である。持っている（あるいは、これから身につけていく）「力」を正しい方向で発揮させたい▼行動を通して「学ぶ」これが現在校内で推進している「世のため・人のため」活動である。世界は災害・コロナ禍・戦争・今回の事件など不安事象が続いている中だが、たくましく、しなやかな子どもを育てていきたい。